

主題： 第49回 中・四国支部青年技術士交流会 例会  
日時： 2009年8月5日（水） 18：30～20：00（予定）  
場所： 中・四国支部会議室  
内容： 以下のとおり

### 1. 連絡事項

- |                             |      |
|-----------------------------|------|
| (1) 第36回技術士全国大会（仙台）         | 資料 1 |
| (2) 第40回 日韓技術士会議（下関）        | 資料 2 |
| (3) 国際交流フェスティバル（ペあせろべ）      | 資料 3 |
| (4) 技術士学生交流会（島根県技術士会 青年部行事） | 資料 3 |

### 2. 今年度の活動計画について

資料 4

- ・ 5周年記念例会の報告
- ・ 今年度実施するプロジェクトの選定（全員参加）
- ・ プロジェクトの活動計画（全員参加）

### 3. その他

- ・ 情報共有ツールについて
- ・ 次回例会、勉強会担当 9月9日

(1) 第36回技術士全国大会（仙台）

① 第5分科会「技術者倫理」・・・青年委員会及び修習委員会が担当

テーマ：「中立公正の堅持と自律的な規範」

キーワード：中立公正の堅持、品位の保持、倫理教育

実施要領：各支部等におけるCPD行事において提示した分科会テーマに関して、あるべき姿と何ができるか、何をすべきかについて提言を行う。

→8月22日の修習セミナーで実施

② 青年技術士 本・支部連絡交流会の参加募集

全国大会（仙台）青年技術士 本・支部連絡交流会のご案内

日時：平成21年10/16（金）～17（土）

15：30 全国大会会場出発（バスにて旅館へ直行）

16：30 本・支部連絡会議（旅館内会議室）

18：30 懇親会（余興含む）

場所：秋保温泉 蘭亭 <http://www.akiu-rantei.com/>

会費：15,000円（予定）

申し込み〆切：7/31

※お部屋は原則として、男女別の相部屋となります。

全国大会会場（仙台国際センター <http://www.sira.or.jp/icenter/>）

より、送迎バスで直行。

翌日（10/17）仙台駅まで送迎バスあり。

10/17（土）松島散策ツアー企画（自由参加）

③ 青年技術士交流誌の原稿依頼

第36回 技術士全国大会（仙台）に当り、青年技術士交流誌が発行されます。

各支部紹介、青年技術士活動紹介の寄稿をお願いします。

・支部紹介	A4×3ページ（P.〇〇参照）
・青年技術士活動紹介（5編）	A4×1ページ（P.〇〇参照）

締切 8/26まで高木宛にメール

## (2) 第40回 日韓技術士会議（下関）

資料 2

日韓技術士会議とは

日韓技術士会議は1971年に韓国で初めて開催され、以後、日本・韓国の各都市で毎年交互に開催されてきました。  
当初は日韓技術士の友好親善が主な目的でしたが、その後、技術士法の比較研究、技術移転や産業安全をテーマにした共同研究も進められ、現在では分科会が常設され、更には青年技術士が主体となった親善サッカー大会や分科会、女性技術士の集いといった幅広い分野を網羅した国際会議として注目を集めています。

日時：平成22年10/16（土）～18（月）

会場：海峡メッセ下関

### ① 日程について

### ② 青年技術士交流会の役割

- ・ 第5分科会のスタッフ
- ・ 日韓親善サッカー大会（懇親会含む）の企画・スタッフ

### ③ 本年度の日韓技術士会議への参加（視察および下関のPR）

### ④ 本年度の日韓技術士会議 第5分科会での発表

日時：10月8日（木） 本会議及び分科会（9：00～17：30）

会場：Hyatt Regency Incheon（仁川ハイヤットリージェンシーホテル）

韓国 仁川広域市中区雲西洞2850-1

## (3) 国際交流フェスティバル（ぺあせろべ）

日時：平成21年10/25（日） 10：00～16：00（前日準備は13時頃～）

会場：中央公園芝生広場（中区基町）

島根県技術士会 青年部の方(15名程度)が来年の出店を見据えて、手伝いや他のブースの視察を兼ねて前日から一泊二日で来られます。

したがって、24日夜に島根県との交流懇親会を開催する予定です。

## (4) 技術士学生交流会（島根県技術士会 青年部行事）

日時：平成21年11/28（土）

会場：松江工業高等専門学校

内容：「仮称；技術に関する発想力を発揮してもらおう討論会」・・・グループ討議

参加者：島根県技術士会、島根大学、松江高専、中四国支部を対象（目標人数50名）

その他：夜は忘年会を予定している。（目標人数30名）

## 青年技術士交流会発展のイメージ

青技交が更に発展していくためには、これまで築き上げてきた活動をますます**活性化**させ、少しずつ各県との**連携**強化を図り、**魅力**あるイベントなどによって**積極的な会員**を増加させていく必要がある。

### 1. 活動の活性化

- ・例会の活性化
- ・イベントの充実
- ・広報活動の活性化

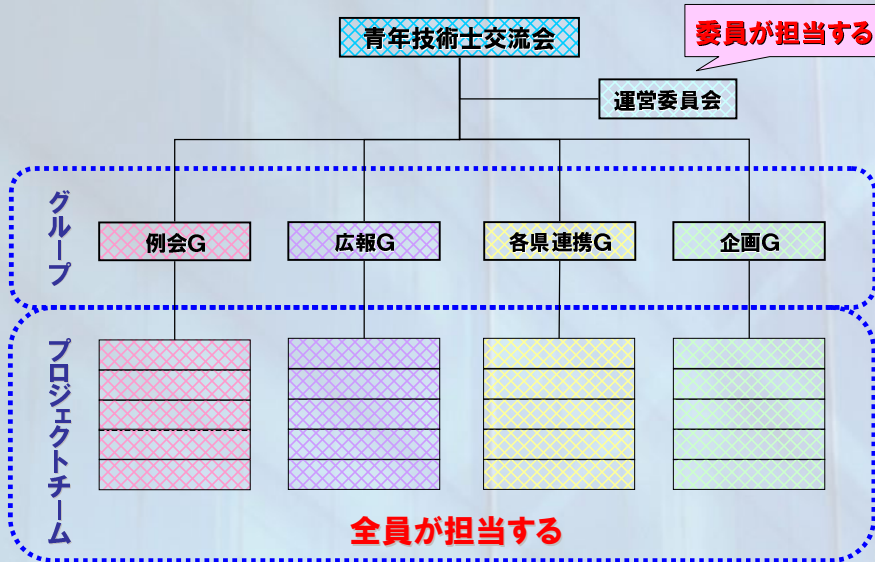
### 2. 各県との連携

- ・地方例会
- ・共同イベント

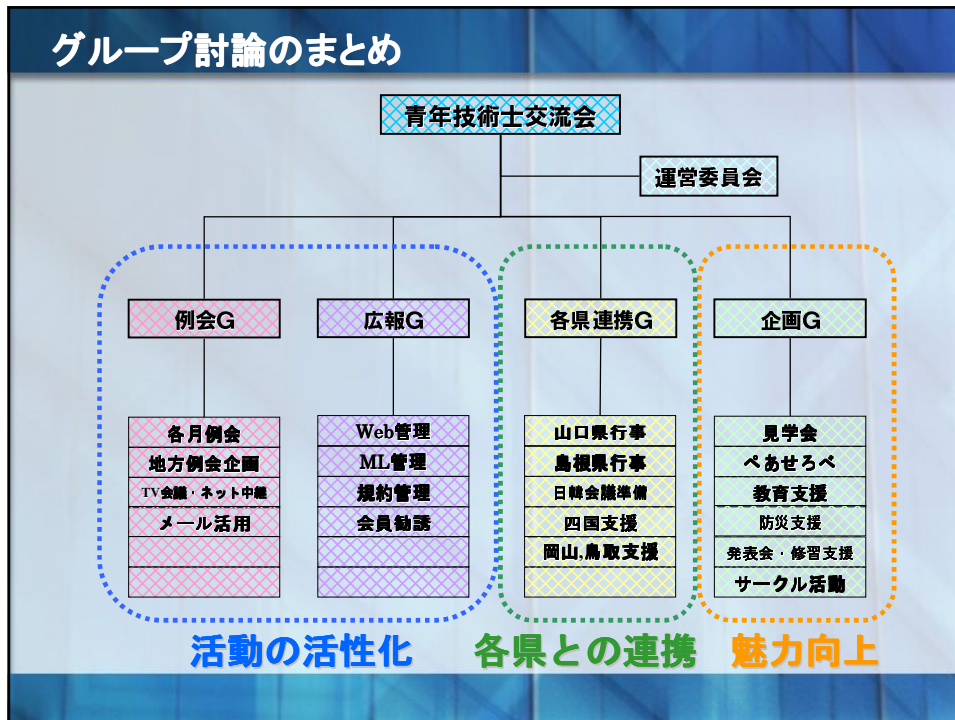
### 3. 会の魅力向上

- ・社会貢献
- ・新規イベント

## 運営方針



## グループ討論のまとめ



## 今年度の運営方針

### 21年度 青年技術士交流委員

役職	名前	備考
委員長	高木 周一	
副委員長	森保 直也	
委員	鈴川 竜司	
委員	荒本 達也	
委員	中田 圭吾	
委員	松本 伸介	
委員	小村 徹	(鳥取県)
委員	池末 二郎	(山口県)
委員	(募集中)	
委員	(募集中)	
顧問	森岡 敬士	
顧問	佐竹 伸二	

役職	名前	備考
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	
委員補佐	(募集中)	

委員補佐を募り、スタッフの増強を図る。

5周年記念例会 グループ討論結果（その1）

	活性化グループ	連携グループ	魅力向上グループ
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例会活性化P</li> <li>・サークル活動P（飲み、バンド、サッカー、など様々な趣味）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各県によるイベント企画P</li> <li>・ネット中継による交流会、勉強会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援P（小学生～大学生まで）</li> <li>・防災支援P（防災知識～土地購入支援まで）</li> </ul>
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、高専（JABEE）への出前講座</li> <li>・カリスマ技術士を呼ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV会議（ネット中継）</li> <li>・土曜開催の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV出演（技術士の露出を増やす）</li> <li>・見学会</li> <li>・青年技術士の発表会</li> </ul>
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを増やす</li> <li>・地方例会を増やす（地域持ち回り）</li> <li>・メールの活用（細かい報告）</li> <li>・多くの分野の人に会員になってもらう施策を考える</li> <li>・マスコミへ積極的に露出（技術士という名前を使う）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学会と例会を兼ねる（地域持ち回り）</li> <li>・土日開催</li> <li>・各県にキーパーソンをつくる</li> <li>・議事録（例回の内容）をメールで発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術士は社会的に固いイメージ（やわらかいイベント開催）</li> <li>・キーパーソンを育てる</li> <li>・他分野との交流（全部門を揃える）</li> <li>・HP等で活動内容を報告</li> <li>・一般の人へのアピールが必要</li> </ul>
Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信P（イベント、勧誘、技術士会の魅力） →10年後（Yahoo検索トップ）</li> <li>・講演会P（興味ある講師、一般開放、専門分野を極める講演会） →10年後（ノーベル賞受賞者の招致）</li> <li>・虎の穴P（技術士受験指導） →10年後（合格者3割が出身）</li> <li>・親睦会P（土曜日開催、各地持ち回り） →10年後（プリンスホテルで忘年会）</li> </ul>		
Eグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV会議システム（スカイプ、SOBA、録画して動画配信）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術士非会員の参加促進</li> <li>・各県技術士会との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座（理科、測量）プロの仕事を各分野で発表</li> </ul>
Fグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修習支援（受験指導）</li> <li>・見学会（軍艦島、空港大橋）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方へ押しかけ（各県の情報をMLで共有）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ（ゴルフ、ボーリング）</li> <li>・キャンプ（サマースクール）</li> <li>・ボランティア（理科支援）</li> <li>・広報活動（技術士の肩書を使う）</li> <li>・斜面对策のビフォーアフター</li> </ul>

## 5周年記念例会 グループ討論結果（その2）

例会グループ	広報グループ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・例会活性化P</li> <li>・地方例会を増やす（地域持ち回り）</li> <li>・土曜開催の増加</li> <li>・コミュニケーションを増やす</li> <li>・メールの活用（細かい報告）</li> <li>・議事録（例回の内容）をメールで発信</li> <li>・TV会議システム（スカイプ、SOBA、録画して動画配信）</li> <li>・ネット中継による交流会、勉強会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信P（イベント，勧誘，技術士の魅力）</li> <li>・技術士非会員の参加促進</li> <li>・多くの分野の人に会員になってもらう施策を考える</li> <li>・一般の人へのアピールが必要</li> <li>・マスコミへ積極的に露出（技術士という名前を使う）</li> <li>・広報活動（技術士の肩書を使う）</li> <li>・HP等で活動内容を報告</li> </ul>
連携グループ	企画グループ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各県によるイベント企画P</li> <li>・各県にキーパーソンをつくる</li> <li>・各県技術士会との連携</li> <li>・地方へ押しかけ（各県の情報をMLで共有）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学会（軍艦島、空港大橋）</li> <li>・教育支援P（小学生～大学生まで）</li> <li>・防災支援P（防災知識～土地購入支援まで）</li> <li>・青年技術士の発表会</li> <li>・大学，高专（JABEE）への出前講座</li> <li>・修習支援（受験指導）</li> <li>・講演会P（興味ある講師，一般開放，専門分野を極める講演会）</li> <li>・虎の穴P（技術士受験指導）</li> <li>・親睦会P（土曜日開催、各地持回り）</li> <li>・サークル活動P（バンド、サッカー、ゴルフ、ボーリングなど様々な趣味）</li> <li>・キャンプ（サマースクール）</li> </ul>



## 活動計画案

グループ	プロジェクト名：
活動メンバー	
活動内容	
役割分担	
開催時期	
工程計画	
必要予算	
今後の打合せ方法 (メール, ML, 会議等)	
その他	